

大学院「研究紀要」(創刊号) 発刊に寄せて

神戸親和女子大学学長
文学研究科委員会委員長

山 根 耕 平

本学大学院は平成14年4月に開設され、この4月をもって開設4年目を迎えます。お陰様で、すでに延べ60名の修了生を世に送り出し、順調に発展しております。今年も心理臨床学専攻と教育学専攻で32名の入学生を迎え、さらなる発展を図ろうとしています。

このたび、研究紀要創刊号を発刊する運びとなりました。大学院担当の教員、大学院生の研鑽の結果がここに公になります。大学を代表してお慶び申し上げます。

近年、大学の教育機能の重要性が強調され、ややもすると、研究機能の弱体化が危惧されています。しかし、ヤスパースもその大学論で述べているように、本来、研究と教育は一体のもので、教員は自己の研究成果を学生に伝える責務があります。さらには、その研究テーマを共有し、協力し合う必要もあります。大学教員は、学生、とくに大学院生とは、師弟の関係にあるとともに、共同研究者であると思います。

この意味において、このたび、教員の研究成果とその研究指導の結果でもある院生の論文も掲載されていることは、たいへん喜ばしいことです。院生にとって、掲載された論文は、修士論文とともに、院生の今後の研究の出発点にもなり、意義深いことと考えます。院生の今後の研究がさらに深化・発展することを祈念しています。

この研究紀要が世の研究者にとって刺激的なものとなり、また、あとにつづく後輩たちにとっても、研究意欲を喚起するものとなることを期待しています。

おわりに、教員の方々には、学部との掛け持ちで負担もたいへん多い中、授業と院生の研究指導とで頑張っていることに感謝申し上げます。さらに、そうしたきびしい環境のもとで論文の執筆をいただいたことに厚くお礼申し上げます。今後とも、学部生・院生の指導とご研究にご尽力くださいますようお願い申し上げます。